

第2章 経 営

1 会計制度

精神医療センターは令和3年度から地方独立行政法人に移行した。

2 令和6年度決算

(税抜)

収益		
科目	決算額(円)	構成比(%)
経常収益	3,599,248,754	100.0
営業収益	3,592,351,402	99.8
医業収益	2,119,234,492	58.9
入院収益	1,813,345,568	50.4
外来収益	239,666,851	6.7
その他医業収益	66,377,173	1.8
保険等査定減	△ 155,100	0.0
運営費負担金収益	1,339,055,000	37.2
補助金等収益	3,052,451	0.1
寄附金収益	3,093,790	0.1
資産見返負債戻入	127,915,669	3.5
営業外収益	6,897,352	0.2
運営費負担金収益	672,000	0.0
貸倒引当金戻入益	188,600	0.0
財務収益	2,238	0.0
その他営業外収益	6,034,514	0.2
臨時利益	-	-

費用		
科目	決算額(円)	構成比(%)
経常費用	3,690,391,529	100.0
営業費用	3,603,699,462	97.6
医業費用	3,603,699,462	97.6
給与費	2,494,307,194	67.6
材料費	163,454,512	4.4
経費	626,440,540	17.0
減価償却費	310,750,940	8.4
研究研修費	8,746,276	0.2
一般管理費	-	0.0
営業外費用	86,692,067	2.4
財務費用	1,380,577	0.1
雑支出	17,720	0.0
控除対象外消費税	85,293,770	2.3
臨時損失	2,332,628	-
固定資産除却損	2,332,628	-
その他臨時損失	-	-

営業損益	△ 11,348,060
経常損益	△ 91,142,775
純損益	△ 93,475,403

※ 構成比は経常収益、経常費用に対する割合（臨時利益、臨時損失は含まない）

3 改善への取組

(1) 経営改善戦略会議

精神医療センターの経営改善に資するため「経営改善戦略会議」を設置し、運営状況、医業収入・支出状況、経営改善スローガンと運営上の課題等について毎月、分析・検討を行っている。

<地方独立行政法人埼玉県立病院機構 令和6年度 年度計画における各指標の実績>

	年度計画の指標	目標値	実績値	評価
共通目標	紹介率（％）	56.8	49.3	B
	逆紹介率（％）	61.0	57.9	B
	入院患者満足度（％）	80.0	86.1	A
	外来患者満足度（％）	85.0	84.3	B
	相談件数（件）	34,000	41,859	S
	ホームページ更新回数（回）	27	34	S
	クリニカルパス適用率（％）	39.7	41.5	A
	インシデント・アクシデント報告件数に占めるレベル0の割合（％）	41.9	38.2	B
	院内感染対策委員会開催回数（回）	12	12	A
	職員満足度（％）	74.8	74.6	B
	新規外来患者数（人）	910	1,223	S
	病床利用率（％）	84.2	82.2	B
	材料費対医業収益比率（％）※	7.1	7.7	B
	後発医薬品の割合（数量ベース）（％）	80.0	83.3	A
独自目標	依存症プログラムの年間参加延べ人数（人）	6,582	7,522	A
	依存症治療拠点機関・専門医療機関としての講師派遣件数（件）	8	13	S
	依存症治療拠点機関・専門医療機関としての研修開催参加施設団体数（団体）	53	272	S
	児童思春期入院患者の実患者数（人）	68	72	A
	精神科救急対応年間延べ患者数（人）	260	257	B
	クロザピン処方実患者数（人）	29	53	S
	クロザピン新規導入患者数（人）	6	7	A
	診療所等入院要請受入延べ患者数（人）	120	226	S
	保健所への技術協力への医師の参加回数（回）	90	101	A
	精神疾患に係る時間外、休日又は深夜における入院件数（件）	75	83	A
	医療連携室を経由した入院件数（件）	138	186	S
	行動制限に関する研修参加人数（人）	153	187	S
	CVPPP研修の参加人数（人）	365	436	A
	TQM推進だよりの発行回数（回）	3	3	A

評価（5段階）の基準

S：目標値の120％以上 A：目標値の100％以上120％未満 B：目標値の80％以上100％未満

C：目標値の60％以上80％未満 D：目標値の60％未満

※：「材料費対医業収益比率」はより低い割合を目標としている指標のため、目標を下回った割合を達成状況として評価する。

(2) 患者満足度調査

より良い医療サービスを提供していくために、アンケートを実施し、患者や保護者の方の率直な御意見を伺い、病院の改善に役立てている。

(3) 経営改善スローガン

部署ごとに経営改善スローガンを掲げ、運営上の課題、経営目標、目標数値、目標達成のために向けた戦略を設定し、毎月の会議で報告及び分析を行い、連携して経営改善の取り組みを行っている。

<令和6年度 各部署の経営改善スローガン>

部署	経営改善スローガン
第1病棟	「上昇志向宣言」 ー挑戦はとまらないー
第2病棟	明るく、楽しく、爽やかに、入院受け入れ！
第5病棟	患者中心の医療提供と、入院待機患者の積極的な受け入れを目指す
第6病棟	多職種連携で、「断らない救急医療」と「退院促進」を目指そう
第7病棟	多職種連携を高めて退院支援を促進しよう
外来	「認め合い、支え合う」～去年より更に上へ～ 多職種チーム医療の実践
医療連携室	地域医療機関との連携を推進し、病院経営に貢献をする
依存症治療研究部	「臨床も、研究も」
療養援助部	病院経営及び精神障害に対応した地域包括ケアシステムの構築に貢献する
検査部	質の高い検査を提供し、貢献度アップを目指す
薬剤部	薬物療法の有効性、安全性の向上に貢献する
栄養部	SDGs (Seishin Dietitian Good Syokuji) 持続可能な美味しい給食提供、退院後を見据えた栄養管理
看護部	1人ひとりが看護の質向上と経営貢献の両立を目指す
医療安全管理室	チームワークを高めて医療の質と安全性の向上を図る
医事担当	変化に柔軟に対応し、医療の質向上をサポートする

(4) 精神科入退院支援加算の算定に向けて

令和6年度診療報酬改定により新たに追加された「精神科入退院支援加算」を算定するため、令和6年10月に入退院支援室を立ち上げた。退院困難が予想される患者に対し、入院早期から包括的支援マネジメントを行い、入退院支援を充実させるとともに、新たな算定による収益改善に向けて取り組みを進めている。